



うしおのよい子



梅香る 2 月、感謝の花を咲かせましょう

校長 南川 貴子

お正月があけて3学期が始まったと思ったら、早いものでもう2月。2月は「逃げる」と言われるように、駆け足で時は過ぎてゆきます。先日は書き初め展にお越しくださり、ありがとうございました。

南門にある紅白の梅の木も、寒い時期からつぼみをつけ、少しずつ大きくなり、ちらほら咲きはじめました。2月、3月は一年間のまとめと、次年度に向けての準備をする時です。今年度、学んできたことがしっかりと蓄えられ、学年の締めくくりとして、花を咲かせられるよう、今、できることをしっかりと取り組んでいきましょう。

1.17 は忘れない 地震・津波の避難訓練

毎年1月17日に、地震と津波を想定した避難訓練をしています。子どもたちは、それぞれ学年や学級で、阪神・淡路大震災や津波について、事前学習を行いました。映像で見る地震や津波の様子は、到底現実のものとは思えません。東日本大震災からも15年が経ち、当時を知る方々が少なくなってきた中で、少しでも自分事としてとらえ、考えてほしいという思いから、本校では、毎年、尼崎やその近くで阪神・淡路大震災を実際に体験した方に、当時のことを話していただいています。今年は先生という立場で経験したことを、本校の教員が話をしました。地震や豪雨などの自然災害は、なくすことはできませんし、完全に予測することもできません。だからこそ、日頃から訓練をして、いざというときに落ち着いて行動できるようにしなければなりません。そして何不自由なく暮らせている毎日が、決して当たり前ではない、本当に幸せなことだというのを忘れずにいたいと思います。

2月の行事

- | | |
|----|--|
| 2月 | 2日（月）朝会・委員会 |
| | 4日（水）入学説明会 |
| | 5日（木）代表委員会 |
| | 6日（金）地区別バスケットボール大会 |
| | 9日（月）児童集会
短縮校時 |
| | 12日（木）児童会役員選挙 |
| | 13日（木）短縮校時 |
| | 16日（月）感謝の会・クラブ |
| | 18日（木）参観（5校時）・懇談（6校時）
※詳細は別紙をご覧ください |
| | 25日（水）短縮校時 |

～朝の風景～

寒い日が続いていますが、登校後外で元気よく遊ぶ児童がたくさんいます。体を動かすことで、風邪に負けない体力づくりもしていただいています。



地震の話

みなさん、こんにちは。

今日は、先生の阪神淡路大震災の時の体験談を聞いてください。

あの時、先生のおうちも、先生のお父さんお母さんのおうちも壊れ、本当に大変な事を色々経験しました。電気もガスも水も使えない中で、いつもとは全然違う毎日を過ごしていました。

そんな中で、今日は、学校での出来事で特に心に残っている事をお話します。

先生は、あの時、潮小学校の近くの「名和小学校」の6年生の担任の先生でした。その6年生の子たちとの出来事で、特に心に残っている事を2つお話します。

1つ目は、先生のクラスの子たちは、2学期から一生懸命バスケットの練習をがんばり、地区の大会に出るという所まで決まっていた。でも、地震の被害がすごかったので、大会は中止になりました。

クラスの皆は、とても残念で色々な思いはあったと思いますが、不満を言わず、ぐっと我慢していました。先生はその姿を見てとても感動しました。

2つ目は、卒業式の事です。あの地震で名和小学校の近くの方々のおうちが壊れ、体育館にたくさんの方が避難されていました。先生方や6年生の子供たちは、体育館での卒業式は出来ないと思い、運動場でしょうと考えていました。

その時、体育館に避難されていた方々から「6年生には、ぜひ、体育館で卒業式をしてほしい。」という申し出がありました。そのご厚意を受けることになった時に、6年生の子たちから、「避難されている方たちの荷物を、多目的室などに移動するのを、ぜひ、私たちにさせてほしい。」という声が上がりました。

その結果、無事に体育館からそれぞれの部屋への移動が終わり、体育館での卒業式をする事ができました。

この出来事では、避難されている方々の温かいお気持ちと、6年生の子たちの「今の自分たちにできる事は何か」をしっかりと考え行動する姿を見て、その素晴らしさを感じました。

当たり前のように、給食を食べたり、学校で勉強したり、友だちと遊んだりできることがどんなに素晴らしくて幸せな事かを、皆さんにも分かってもらえたら嬉しいのです。

皆さんも、たった1つしかない命をしっかりと守ることと、毎日の当たりの幸せを大切にしてくださいね。

これで先生からの話は終わります。

委員会活動・バスケットボール、頑張っています

5・6年生は、委員会活動で、学校全体に関わる仕事をしています。毎日任された仕事をする事もあれば、子どもたちが学校をよりよく過ごせるようにと考えた企画もあります。頼もしいですね。バスケットボールも連日練習しています。

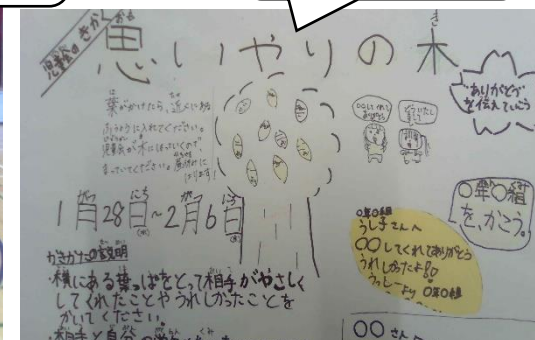
掲示委員会
季節のポスター



毎日の練習に励む
子どもたちと先生



児童会
学校を盛り上げる企画



子どもたちを守り育てるためのネットの約束～家庭で話し合いたいインターネットのルール～

今の時代、インターネットはなくてはならないものになっています。スマホひとつで、買い物ができ、欲しい情報は手に入り、簡単に映像やメッセージを送ることができる大変便利なものです。一方で、顔も名前も知らない人とつながったり、偽の情報に騙されたり、個人情報がつたやすく漏れてしまうなど、正しい使い方やモラルを知らないと、犯罪に巻き込まれたり、被害にあう可能性も大いにあります。

学校では、GIGA スクール構想の下、タブレットを活用した授業を行ったり、正しく使えるように情報モラルの授業をしています。ですが、インターネットの普及のスピードはすさまじく、便利で快適になる反面、新たな問題も湧き起こっています。小学生であっても、スマホを持つ時代になりました。子どもたちが犯罪にまきこまれないように、また犯罪の片棒を担がないように、ルールを決め、継続的に指導していくことが大切です。

○何気ない会話のつもりでも…(コミュニケーションのトラブル)

顔を見て会話するわけではないので、文字だけのやり取りでは微妙なニュアンスが伝わらず、誤解を生むことも！相手が見えないからこそ、自分の表現が、知らないうちに相手の悪口や嫌がらせ、誹謗中傷になっていないか、考えてやり取りしましょう。

○このくらい大丈夫と思ったら… (情報公開のトラブル)

顔が映ってないし、これくらいなら大丈夫と写真を公開したことで、家や学校が知られてしまい、事件に巻き込まれることもあります。面白いからと、ふざけている写真や、ルール違反の動画を撮影して公開すると、一度公開した情報は一生消えません。その責任も負えません。もし他の人の人権を踏みにじるような投稿をしてしまったら…、家族もろとも賠償責任を負うことになります。投稿する前に、してもよい内容か、しっかりと考えることが必要です。

○親切そうに見えても… (出会いのトラブル)

悩みを聞いてくれた、簡単そうなアルバイトでたくさんお金がもらえるなど、親切そうなふりをして、悪意のある人が近づいてくることがあります。結果、犯罪に巻き込まれ、取り返しがつかなくなります。個人情報を教えないことはもちろん、子どもたちだけで知らない人と絶対に会わないことを確認しましょう。

○楽しいからとやめられなくなる… (ネット依存)

大人も子どもも「ネット依存」になる人が増えています。ゲームやインターネットのコンテンツ、やり取りにやめられなくなるほど依存してしまい、結果、夜更かし、睡眠障害、倦怠感、食欲不振など、日常生活が送れなくなります。特に、脳や体の発達期にある子どもに与える悪影響は大きく、感情や衝動を制御する前頭前野の発達を遅滞させ、記憶力や学力の低下を招く恐れがあります。

小学校段階の子どもたちは、まだ自分でコントロールする力は育っていません。自分の行動がどのような結果を招くのかを想像することも難しいです。だからこそ、家族でその危険性や、依存のこわさを話していただき、安心安全に使えるよう話し合いながらルールを決めてほしいと思います。ルールはご家庭ごとに違って当たり前だし、変更もしていいと思います。状況に応じて、たくさん話していただくことが、トラブルを未然に防ぐことにつながります。家族みんながスマホを見ていて、誰一人会話がない、というような状況にだけはならないようお願いいたします。

少し前になりますが、スマホの約束で話題になった記事を紹介します。

2012年のクリスマス。アメリカで母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」が話題になりました。(原題は「Gregory's iphone Contact」)特に、多くの親たちに支持された背景には、子どもにスマホを与えることへの不安の大きさがあると言えます。もはや、大人だけではなく、子どもの世界でも欠かせない存在になっているスマホ。どんどん低年齢化が進んでいます。この「18の約束」には、一方的ではなく、一緒にルールを守っていくために、親子でスマホと上手に向き合うヒントがギュッとつまっています。ぜひお読みいただき活用してください。

【資料】「スマホ」18の約束 ～アメリカであった、母から息子への契約書～

- ① このスマートフォンは、母が買い与え、料金も払っているものです。あなたに貸しているスマートフォンです。
- ② パスワードは、親が管理します。常に報告してください。
- ③ 電話はマナーを守って礼儀正しく、父や母からの電話には必ず出るように。
- ④ 学校がある平日は夜7時半、週末は夜9時になったら、親にスマホを引き渡すこと。夜の間は電源を切り、また朝7時半に電源を入れます。固定電話で、電話すべきではない時間に、メッセージやメール、電話で話すことはいけません。お互いの家族のプライバシーを尊重しましょう。
- ⑤ 学校に持って行ってはいけません。メッセージ、メールではなく直接対話しなさい。人との会話は大切なスキルです。
- ⑥ もし、水や地面に落として故障したり、なくしたりした時の修理や交換の費用はあなたが持ちます。その費用は、自分で準備しなさい。
- ⑦ 人に対して嘘をつくこと、ばかにすること、あざむくことに使ってはいけません。たとえ誘われても、人のためになることを大切に考え、人を傷つけることは参加しません。
- ⑧ 面と向かって言えないことは、スマホを使い、メールなどで言わないこと。
- ⑨ 自分を見つめなさい。友達の親がいる前で言えないことは、メールでも言わないこと。
- ⑩ アダルトサイトは禁止。必要であれば、お父さんやお母さんに聞いてください。
- ⑪ あなたは礼儀正しい子です。それを崩さぬよう、公共の場では電源を切るか、音を切り、しまっておくこと。
- ⑫ 隠しておくべき自分のプライベートや、他人のプライベートの写真を送ったり、受け取ったりしないこと。あなたは賢い子ですが、そうするようにと誘惑されることがあるでしょう。こうした行為は、あなたのこれからの人生を台無しにする恐れがあります。巨大な力をもつネットワーク空間で、一度広まった悪い評判を消すことは困難だからです。
- ⑬ むやみやたらに写真やビデオを撮らないこと。あなたの経験は永遠にあなたの記憶に残るでしょう。
- ⑭ たまにはスマホやゲーム機を家において出かけましょう。携帯がなくても生きていけるようにしなさい。「みんながしていることを逃がすのではないか？」という恐れよりも強くなりなさい。
- ⑮ 様々な音楽と出会ってください。あなたの視野を広げてください。
- ⑯ ときどきは言葉のゲームやパズルや知能ゲームを解いて脳をきたえなさい。
- ⑰ 世界をあなたの目を通して見ましょう。検索する前に、考えることです。
- ⑱ あなたがミスを犯したなら、スマホを取り上げます。そして、最初から考え直していきましよう。問題はあなただけの問題ではなく、私達家族で答えを出していきましょう。

大切なことは話し合って決めていくこと、そして「信頼しているよ。」という気持ちで、目を離さないこと。それぞれのご家庭で大切にしていることをぜひお伝えいただけたら幸いです。

参考資料：文部科学省・情報モラル教育推進事業・狭山市教育ネットワーク・川崎市教育委員会